

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ペトロプラスの汚職事件に関連し、与党労働党のDelcidio Amaral氏が捜査妨害の疑いで最高裁の令状に基づき逮捕されるなど、疑惑が金融界や政界にまで拡大したことが嫌気され、レアル売りが優勢の展開。一時3.80台半ばまでレアル安が進行した。上院の与党リーダーでもある Amaral議員の身柄が拘束されたことで、マーケットではルセフ大統領が目指す財政健全化に向けた法案の議会通過が困難になるとの懸念が高まっており、投資家心理を圧迫している(Amaral議員は、投資家の信頼回復につながる歳出削減と増税策の実現に向けた重要人物)。ボベスパ指数も7営業日ぶりに下落し、前日比2.9%安を記録するなど、足許で落ち着きを見せ始めていたブラジル資産への売り圧力が、再び高まりを見せている。

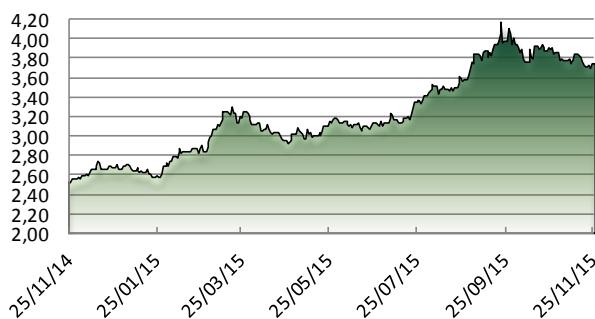
11月24-25日の日程で開催されたCOPOMでは、大方の市場予想通り、政策金利Selicが14.25%で据え置かれた。但し、決定は全会一致ではなく、8名中2名の委員が50bpの利上げを求めていた(決定が全会一致とならなかったのは、2014年10月以来)。また、声明文から従来の「十分長期間に亘って(金利を現行水準に維持する)」との文言が削除された点も注目に値する。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月24日	11月25日	前日比	10月23日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,6992	3,7456	+0,0464	3,8763
	対円	JPY	33,13	32,78	-0,35	31,31
	対ユーロ	BRL	3,9424	3,9780	+0,0356	4,2687
円	対ドル	JPY	122,53	122,74	+0,2100	121,47
	対ユーロ	JPY	130,42	130,39	-0,03	133,84
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	48.284	46.867	-1.417	47.597	-730
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps	399,7	423,5	+23,8	455,1	-31,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	15,22	15,47	+0,25	15,93	-0,46
DI Future Jan17 (金利先物)	%	15,19	15,27	+0,08	15,35	-0,08
3 Months US Dollar Libor	%	0,402	0,402	+0,000	0,323	+0,079
CRB Index (国際商品指数)	Index	185,3	185,7	+0,4	193,7	-8,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

